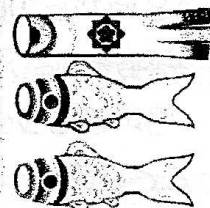


楽 楽


<http://www.asahikonsei.com/>

◆練習スケジュール◆

月／日		会 場	時 間	備 考
4 月	2 4 日 (土)	旭丘公民館	1 9:0 0 ～ 2 1:0 0	1 8:0 0 ～ 特練 (男声対象)
5 月	1 日 (土)	連休につきお休み		
	8 日 (土)	旭丘公民館	1 9:0 0 ～ 2 1:0 0	
	1 5 日 (土)	〃	〃	
	2 2 日 (土)	〃	〃	1 8:0 0 ～ ヴォイトレ (全員対象)
	2 9 日 (土)	〃	〃	
6 月	5 日 (土)	〃	〃	
	1 2 日 (土)	県合唱連盟合唱祭参加		
	1 9 日 (土)	旭丘公民館	1 9:0 0 ～ 2 1:0 0	
	2 6 日 (土)	〃	〃	
7 月	3 日 (土)	〃	〃	
	1 0 日 (土)	中央公民館 軽音楽室 2	〃	
	1 7 日 (土)	旭丘公民館	〃	
	2 4 日 (土)	〃	〃	
	3 1 日 (土)	〃	〃	



■平成 21 年度 旭混声合唱団 総会報告■

◆ 4 月 1 0 日 (土) 練習後の後半に総会が開かれ、平成 2 1 年度の活動報告、会計報告、技術報告、平成 2 2 年度の活動計画が提示され承認されました。引き続き、新役員の選出が行なわれ以下の方々が選ばれました。 ※報告事項の詳細は配布資料を参照してください。

(敬称略)

○ 団 長：合瀬 弘正 (技術委員長兼務)

○ 副 団 長：松本恵美子 (運営委員長兼務)

○ 会計委員長：梅村 和子

○ 渉外委員長：松本 義明 ※渉外担当の中での互選により変更されることもあります。

○ 広報委員長：藤田美左紀

○ パートリーダー／サブパートリーダー、及びパートマネージャーは以下の方々が選ばれました。

パート	パートリーダー	サブパートリーダー	パートマネージャー
Soprano	岩本 純子	須田千賀子	久野希美子
Alto	後藤せつ子	植村 尚子	吉原 直子
Tenor	酒井 敏行		梅村 治康
Bass	伊東 功祐	早澤 信昭	佐竹 保

◆ 渉外委員長より「2011年以降の愛知県合唱連盟加入検討の件」(配布資料参照)についての説明があり、意見を求めるも特に異論は出されず、加盟継続での方向を確認しました。

◆21 年度最後の技術委員会が開かれました◆

3月21日、団長・副団長を交えて技術委員会が開かれました。

内容としては、21年度を振り返っての各パートの課題、次年度に向けての意見・要望などを話し合いました。

主な次年度への意見は、以下の内容です。

- ① 18時からの時間を有効活用し、パート練習等を積極的に行いたい。
- ② 毛利先生に「ピブラート対策」「音程の安定」などをご指導頂きたい。
- ③ 男声をもう少し増員してもいいのでは？→ ホームページの表紙に「土日夜に練習している」ことをアピールし、仕事と両立しやすいことを売りにしてはどうか？

【おせっかい豆辞典】

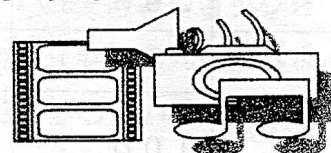
“セーノ！”と「アインザッツ」

アインザッツ (Einsatz＝ドイツ語) とくれば、又ドイツ語か！ となりそうですが、英語では Attack で、日本語では？... 曲の出だし？曲の入り？... 出と入りでは反対ではないかともなりかねません、“セーノ”のかけ声が近いのかもしれませんが、まさか、指揮者が“セーノ”とやるわけにもいきませんよね。

アンサンブルの世界ではこの「アインザッツ」が結構幅をきかせているようです。 曲のはじまり、休止符のあとの曲の出だしは、緊張感というか曲の乗りにひびくところとおもわれます。

アインザッツは指揮者の仕事といわれますが、飛び出し・後出しの責任は基本的には個々の演奏者でしょう。 あるオーボエ奏者の本に、初心者は足で拍子を取り、やや経験者になると体でそっと拍子を取り、ベテランになると頭の中でとれるようになると思いますが、曲の途中で迷子になるようでは指揮者も手の施しようもないことでしょう。 曲のはじまりを揃えるといっても、ピアノのようにボンとたたけば音になるものと、ホルンのように息を吹き込んでから朝顔に出るまでにやや時間のかかるものを同時にピタッと揃えるには事前の準備と相応の技術が必要となります。コーラスの場合、息の吸い方・息の止め方・力の抜き方にそれなりの準備と訓練がそれにあたるでしょうか。

ところで、休止符ではお休みしていませんか？ その方面の書物には、休止符は「休みではなく、沈黙の演奏」と述べられており、それなりに理解はしていても「休止」ということばの誘惑に甘え



ているのは私だけかも知れませんが、明治の世、我が国最初の音楽学校長伊沢修二の意気を感じて入学した富本豊前太夫(50歳の富本節の名人)なる御仁は、唱歌の学習で休止符のところを“ヤ”と豪勢な掛け声を発し、“この奇習止むこと不可能”ということもあって、退学となっていますが、むしろ間を心得たものというべきでしょうか？

アインザッツは指揮者の仕事とはいえ、初見の曲あるいは初顔合わせの指揮には超ベテラン以外は十分に対応できないことは当然です。普段の練習で培われた指揮者とのコミュニケーション、要するに練習の過程で得られるアウンの呼吸が大切ということでしょう、我が旭混声には良好な素地があるように思えますが。

因みに余分なことを一つ、アンザッツ(Ansatz)といえは、声のあて方のことで、「軟口蓋に当てる」とか「前頭部(眉間)に当てる」とかのアレですが、「アンザッツに注意して、アインザッツを揃える」となれば少々キザですかね。(T 林)



～こころをつなぐインタビューリレー～

今回のランナーは、ベースの早澤 信昭さんです。

《まず前回のバトンランナー、アルトの中畑チズ子さんからインタビューしていただきました。》

■今まででやり遂げられたこと、遣り残されたことは？

ごく平凡な人生を送ってきたので、格別なし。強いて言うと、母・姉・妻・子・孫たちと仲のいいこと、それに大病もせず古希まで生きてこられたことかな？

■お仕事、リタイアの後のご予約をお聞かせくださいな。真っ先にお始めになられたいことは何ですか？

① 朝寝 現在春日井の会社まで自動車通勤しているが、道路が混むので毎朝6:50頃出発している。その前に洗顔、朝食のほか犬の散歩をしなければならないので毎朝5:50起床。起きるのがつらい。

② 自分史を書くこと 周囲もあきれほどのトラブル続きのサラリーマン人生だったので、一冊にまとめれば面白いのだが公表できないことが多いので難しそう。

■ご夫婦仲良きの秘訣は？

亭主が我慢すること！これに尽きる。《あれっ、「同感！」というお声がどこからか・・・。》
《広報からも少しお聞きしてもよろしいでしょうか？》

■ご出身はどちらですか？ ご幼少の頃はどんなお子様でしたか？

昭和15年旧満州国鞍山(あんざん)市にて生まれ、終戦の翌年8月内地へ引き揚げ、以降高校卒業まで長野市在住。満3歳で父親が病死し、特に戦後は「ご幼少」とか「お子様」等とは全く無縁の「超極貧母子家庭」に育った。幼い頃はデブで病氣ばかりしている虚弱児童だった。性格はおっとり、おとなしいタイプ、但し売られたけんかは負けなかった。

■合唱を始められたきっかけは？

志望する大学への受験に失敗して、行きたくなかった大学での憂鬱な生活を送っているとき、サークル紹介のイベントがあり、柔道をやるつもりだったのに通りかかった部屋から聞こえてきた歌声に引っぱられて・・あとで親姉たち、友人、恩師が一緒に“unbelievable!”

■今までに心に残っていることをお聞かせください。心に残っている出来事、出会い、心に残っている言葉など何でも結構です。



①中学校の音楽授業 <以下、いっぱいある中で音楽にしぼって>

創立10年も経たない新設校。校舎は旧陸軍の兵舎を解体・移築し白ペンキを塗りたくった安普請の建物。150人位が入れる音楽教室も寄木細工のように古材を使っていたが、天井は音響を考慮してかドーム状、ミニコンサートができる大きなステージ。そこには当時滅多に見られない新しいグランドピアノがあった。さらに信じられないだろうがヴァイオリンが50挺ほどあった。勿論みんな弾かされた。ただし、調弦が大変だったため授業としてはそれほど使われなかった。

音楽のY先生は、「美しい音楽を美しいと感じることが大切」、「楽典なんか必要になったら勉強すればよし」といって楽典を教えてもらえなかった。当時、高校受験には音楽も対象だったので後でずい分苦労させられた。授業ではレコードをよく聞かせてもらった。作曲家がその楽曲をどう構成したとか、チェロはどういう旋律を奏でているかなどをピアノで弾いて解説してくれた。試験らしきは各学期に1回、皆の前で歌うことくらい。

この音楽教師は後に玉川大学の教授になった。これらの要素を総合勘案すると音楽の実験校だったのかもしれない。

②カルチャーショック

我が家には長くラジオがなかった。壁1枚でつながっている社宅で、隣家のWさんがそれを気の毒がって壁に穴を開けて配線し、我が家にスピーカーをつけてくれた。お蔭でお隣りが聞いているラジオと一緒に聞けてありがたかった。当時日曜日の朝には「音楽の泉」というクラシック音楽の番組があり堀内敬三さんが解説していたが、あるとき聞こえてきたピアノ曲に私は大きなショックを受けた。ピアノは鍵盤をたたけば必ず同じ音がでるものとの考えが粉碎された。学校の先生が弾くピアノとは全く別物だった。おんぼろスピーカーから流れる音楽にしばらく硬直していた。そのピアニストは、ワルター・ギーゼキングだった。

■団員の皆様におススメしたいことをお聞かせ下さい。

色々な合唱を聴いてみてはいかがでしょうか。一流プロの演奏をCDで聴くより、下手でもいいから生の演奏を聴いてみてください。そこにはきっと合唱団の歴史や人間性のようなものが顕われているはずです。技術至上主義の音楽からは得られない何かが感じ取れるはずです。

■団への思いをできましたらひとこと。

いつまでも存続することを願っています。

■次回のインタビューのボタンをお渡しいただける方をご紹介いただけませんか。

パート ソプラノ

お名前 藤田 美左紀 様

♡「ラジオでお聴きになったピアノ曲！どんな音だったのでしょうか！楽しいお話ありがとうございました。」♡

(前号「リレーインタビュー」記事の訂正：おススメの寿司屋は水野駅近くの「清月」です。美味しいお漬物のレシピの砂糖は1カップではなく1kgでした。申し訳ありません。)

【編集後記】

この春は寒暖の差がとても激しいですね。4月にこれほど寒いのは14年ぶりだそうです。この原因は、北極付近の寒気が一気に日本付近へ降りてくるため、この春の時期になったそうです。この不安定な気候が続くと抵抗力が落ちて、風邪をひきやすくなるそうです。

団の皆さまも体調には、くれぐれも気をつけてください。

(S：嶋田)

